

保護者の皆様

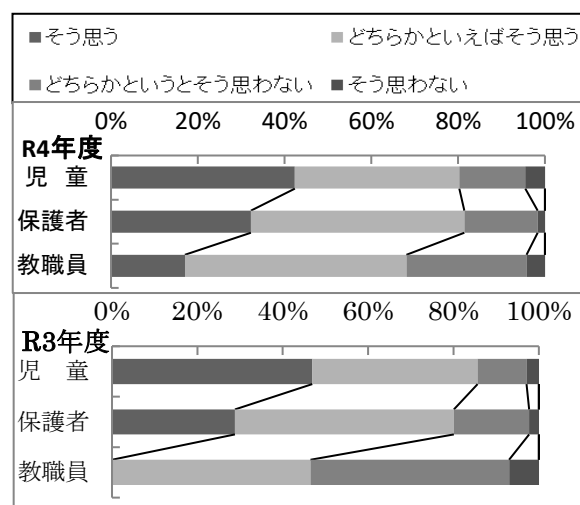
日進市立南小学校長 高 橋 雅 樹

学校評価アンケート結果について（お知らせ）

日頃は、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。児童・保護者・教職員を対象に「学校評価アンケート」、「いじめに関するアンケート」を行いました。回答数は児童 461 名（4～6 年）、保護者 663 名、教職員 47 名でした。集計結果ならびに分析結果をお知らせします。グラフは上段が今年度、下段が昨年度の結果です（無回答は集計から除いてあります）。この結果を、よりよい学校づくりの資料とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

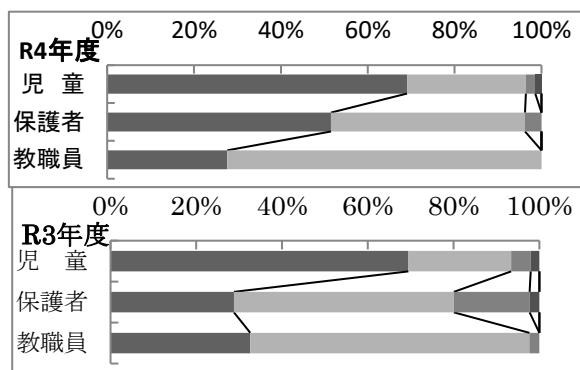
問1 友達や先生に進んで挨拶をしていますか。

今年度、南小学校は創立50周年を迎え「あいさつ・笑顔・50周年」を合言葉に、毎朝、児童会役員や有志児童を中心に昇降口前で挨拶運動を実施しています。月に一度、「あいさつ強化週間」を設けてPTAや地域の方々にも参加していただきました。また、各地区の通学路で交通ボランティアの方々もご協力いただきました。肯定的回答は、保護者・教職員の増加と比べると、児童の割合がやや減っています。これは、現状に満足せず、更に挨拶あふれる南小学校を目指す、向上心の表れとも捉えることができます。



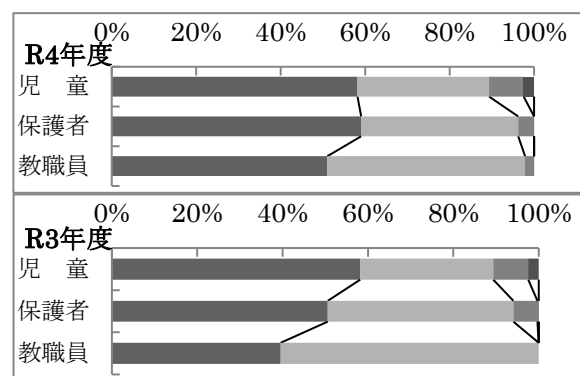
問2 学校で楽しく過ごしていますか。

児童・教職員は90%以上が肯定的な回答をしています。コロナ禍による制約が少しずつ解けて、学校での教育活動や休み時間に友達と思う存分楽しんでいる児童が多かったようです。保護者も肯定的な回答が増えています。運動会や授業参観など、学校での子どもたちの様子を、じっくり見ていただく機会が増えてきたからではないかと思います。



問3 学校の行事に一生懸命に取り組んでいますか。

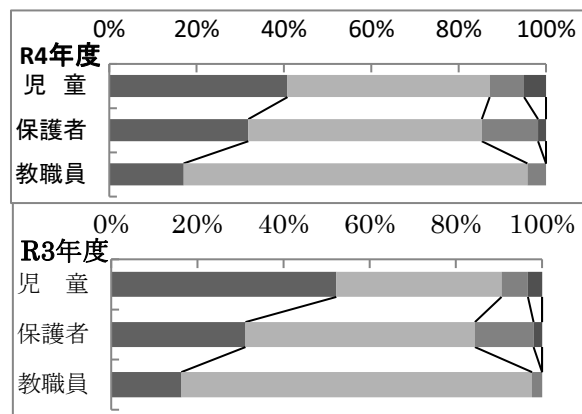
創立50周年の今年度は、学校・家庭・地域が連携・協働して多くの記念行事を行いました。もちろん、感染予防対策を講じながらも、千人規模の学校でできる形としました。どの行事も大いに盛り上がり、大成功を収めることができました。それが、アンケート結果の肯定的回答の上昇につながっていると考えます。どんな行事にも素直に全力で取り組めるのは、南っ子の良さだと思います。



問4 学習に一生懸命に取り組んでいますか。

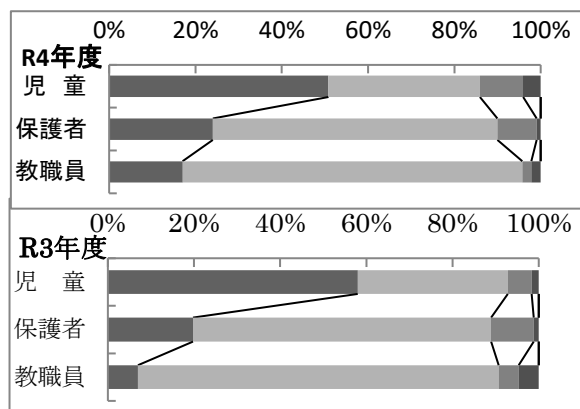
肯定的な回答をした児童・保護者は8割、教職員は9割を超えていて、学校では学習に意欲的に取り組んでいることがうかがわれます。しかし、保護者から見ると少し意識が下がっているように感じられているようです。ゲームやSNSに充てる時間が依然として多くとられているからではないかと考えます。

学校でも家庭でも主体的に学習に取り組める意識をもたせていきたいと思います。



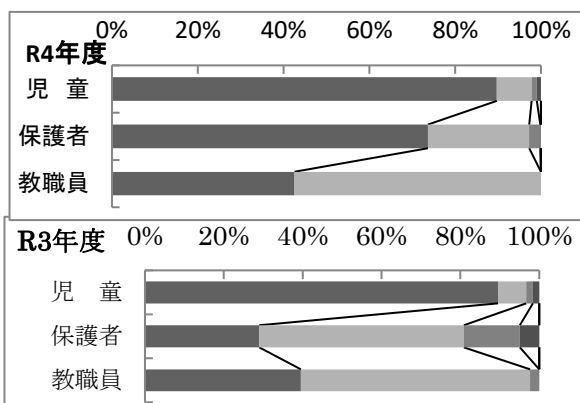
問5 学校の授業は分かりやすいですか。

教職員への質問は「分かりやすい授業をしていますか」です。全ての教職員が分かりやすい授業を目指し、年間一人1回以上の研究授業を実施し、その後、研究協議会を開いています。今年度はタブレット端末を用いた授業展開について研修・実践を重ねてきました。児童の肯定的回答が減っているのはICT機器を取り入れた学習に戸惑いを見せているとも考えられます。児童にとって「授業が分かる」「学校が楽しい」という意識につなげるため、今後も、より分かりやすい授業を目指していきたいと思います。



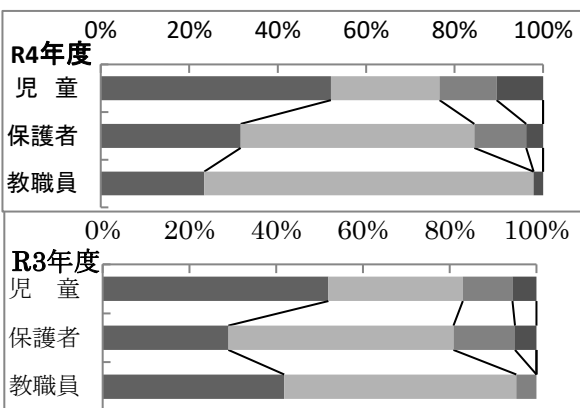
問6 学校に、遊んだり話したりする友達がいますか。

児童・保護者・教職員のいずれも97%以上が肯定的な回答をしており、昨年度より大幅に増えていることが分かります。確かに、コロナ禍の制約が少しずつ解け、授業や休み時間に楽しく友達と交流する様子を多く目にするようになりました。また、50周年記念行事が学年・学級の絆を深めました。反面、友達と遊ぶことが苦手な児童もいるので、全ての南っ子にとって、学校や学級が楽しく安心でき、落ち着ける場所となるよう努めています。



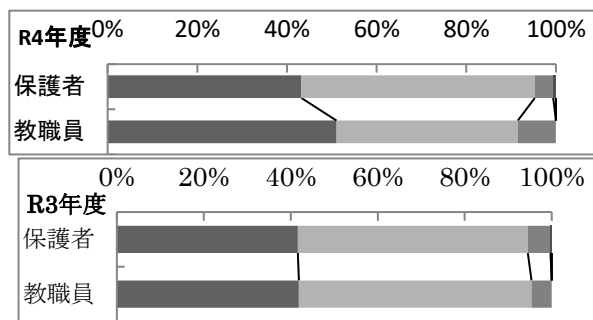
問7 困ったときに相談できる先生がいますか。

教職員への質問は「子どもが困ったときに相談できるように配慮している」です。保護者・教職員のいずれも8割以上が肯定的な回答ですが、児童の回答は昨年度よりやや下がっています。また、否定的な回答もあるため、日常の観察をより丁寧に行い、児童の心に寄り添った指導をしていくように努めます。日頃の学級経営や教育相談等によって、教職員と児童の信頼関係を今後も構築していきたいと思います。



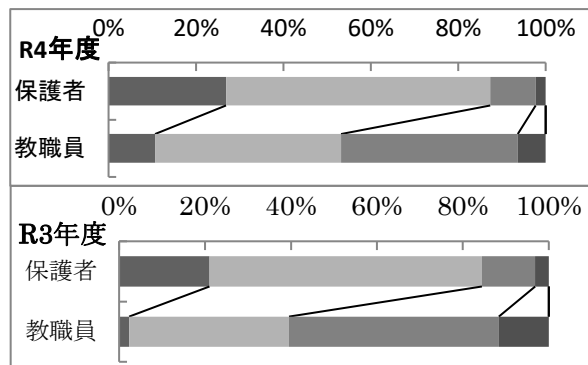
問8 学校は、子どもが安全な学校生活を過ごせるよう努めている。

保護者・教職員ともに約90%以上が肯定的な回答です。保健委員や生活委員の呼び掛けなどにより、廊下や教室内での事故・けが激減し、救急搬送も随分減ってきました。避難訓練等の学校行事も併せ、こういった活動をホームページ等で周知しているので、安心して子どもを学校に通わせられる保護者も多いと考えます。



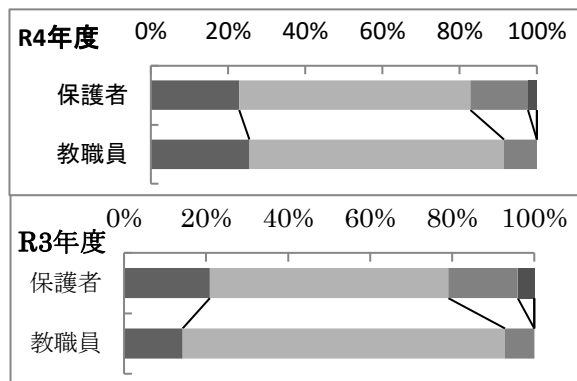
問9 施設・設備は子どもが生活しやすいように整備されている。

昨年度より保護者・教職員ともに肯定的回答が増えているのは、校内電灯のLED化や特別教室のエアコン設置等の結果だと考えます。また、第2職員室やホワイトボードへの改修は教職員の作業効率を上げました。ただし、児童数が多い関係で、特別教室などの使用が制限されたり、トイレの数が不足していたりして児童には不便をかけています。次年度は更に2学級増の予定で、現在、改修工事をしています。今後も施設・設備面の改善に向けて、継続して市当局にも働き掛けていきます。



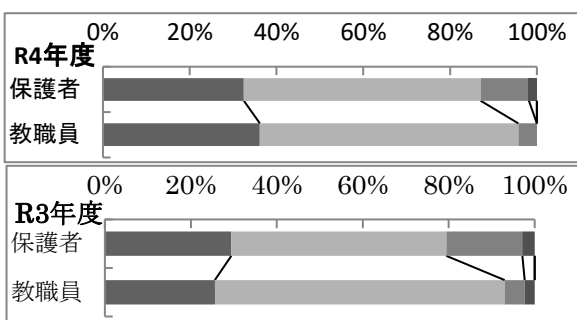
問10 学校は、教育方針や経営方針を分かりやすく伝えている。

保護者は約8割、教職員は9割以上が肯定的な回答で、どちらも上昇しています。昨年度よりペーパーレス化を促進し、ホームページ（HP）を一段と充実させたことが、教職員回答の肯定割合の高さにつながっていると思います。HPの学校紹介・入学説明会要項に教育方針・経営方針の概要が記載されており、毎日のように更新する校長ブログで学校の考えや方針を示しています。全ての保護者が閲覧を楽しみにするようなHPを目指していきます。



問11 各種便りで子どもの様子がよく伝わるように工夫している。

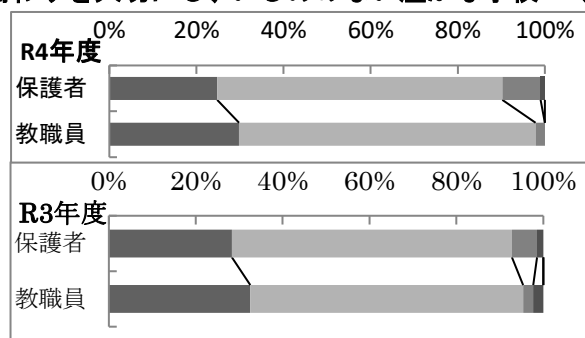
「そう思う」と回答した保護者が、更に増えました。これは問10と同様に、ホームページの充実など、情報発信の方法を工夫した成果だと考えます。今後も紙で配付していたものをHPの「学校からのお便り」でお知らせし、ペーパーレスにもつなげていきます。HP内の校長ブログでは、学校の様子等もタイムリーにアップしていますので、是非、ご覧ください。



【以下はいじめに関する質問項目です。】

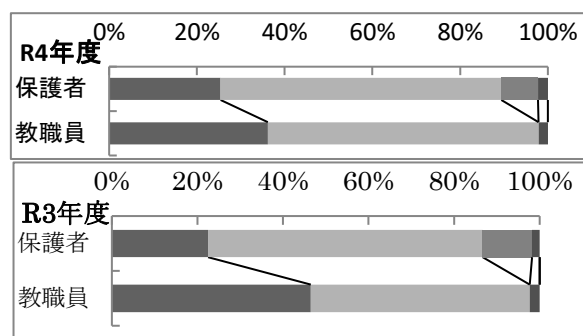
問 12 異学年交流活動、挨拶週間など、子ども同士の関わりを大切にし、いじめのない温かな学校づくりに努めている。

保護者・教職員ともに肯定的な回答割合が高いです。児童会・委員会が企画したイベントも増え、安全・安心を最優先に考えながら、子ども同士が関わる活動を工夫して行ってきた結果だと考えます。コロナ禍による制約が少しずつ解けている昨今、様々な行事の在り方を、教職員と児童と一緒に考えています。安心・安全と「学び」を両立させながら、いじめのない温かな学校づくりに努めていきたいと考えています。



問 13 子どものよさや頑張りをほめ、楽しく分かりやすい授業づくりに努めている。

保護者の肯定的な回答割合が昨年度を上回っています。校長ブログ等で授業研究に関する本校の取組が理解されていることの表れだと思います。教職員は「授業は教師の命」を合言葉にして、今年度も授業研究に力を入れてきました。「そう思う」が減っているのは、現状に満足しない向上心の表れとも捉えることもできます。今後も、学校生活で最も長い時間を占める授業で、児童の自己肯定感を高める実践を行っていきたいと考えています。



問 14 いじめに関する子どもや保護者の相談や悩みなどに対し、適切に対応している。

担任は教育相談等で、児童の心に寄り添いながら、いじめの未然防止・早期発見に努めています。また、担任や教頭が保護者からの相談に真摯に耳を傾けてきました。近年、スマホのLINE等、SNS関連の問題が低年齢化しており、家庭・学校でのネットモラル教育の必要性が増しています。今後も、児童・保護者、地域の方々からの相談や悩みに対して誠実に対応していきたいと考えています。

